



変化に挑戦する滋賀へ

滋賀県知事

三 明 大 造

日本列島のほぼ真ん中に位置する滋賀県は、近畿、中部、北陸の3つの経済圏の結節点にあたり、交通の要衝という地の利による高速道路等の広域交通インフラに恵まれ、企業が事業活動を行う上で最適な立地環境を有していることから、化学、自動車、電機、電子部品、医薬品等の多様な分野の企業に立地いただいています。

開発機能を備えたマザー工場や研究開発拠点を整備いただいている企業も多く、多彩な学部を有する大学の集積を背景に産学連携も盛んに行われてきたことから、国内屈指の「モノづくり県」として発展を遂げてまいりました。

さらに、琵琶湖をはじめとする雄大な自然環境と日常生活に必要な都市機能のバランスがとれた住みやすい街が多く、全国でも有数の若者が多い県です。今後のモノづくりを考えていくうえで人材の確保・育成は最重要課題であることから、次代の社会を支える高等専門人材の育成および地域における技術者育成・交流のハブを目的とした滋賀県初の高等専門学校の令和10年春開校を目指して、現在準備を進めています。

気候変動による異常気象の頻発や地政学リスク、人口減少など、企業を取り巻く環境はこれまでにないスピードで変化する中でも、近江商人の「三方よし」の精神など、これまで築き上げてきたものを継承しつつ、一人ひとりが輝き、「ひと」「社会・経済」「自然」のバランスがとれた持続可能な滋賀を実現してまいりたいと考えています。

未来を切り開くため、ともに滋賀の地で新たなチャレンジに取り組んでまいりましょう。

